研究課題名	「日本産科婦人科内視鏡学会における手術および合併症登録」
研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
研究責任者	所属: 産婦人科 氏名: 邨田 裕子
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2026年12月31日
研究の意義・目的	本研究(日本産科婦人科内視鏡学会における手術および合併症登録参加施設、
	以下本登録)は、本邦の産婦人科内視鏡下手術の現状把握により医療の質の維
	持、向上に役立て、患者に最善の医療を提供することに貢献することを目的とす
	る。本研究で集められたデータを分析することで、以下のことを明らかにできる。
	〇 内視鏡手術を行っている施設の特徴
	〇 医療水準の評価
	〇 手術を受けた方の予後
	〇 これから手術を受ける方の合併症の危険性など
研究の方法(対象	1. データの収集方法
期間含む)	研究参加施設から、共通の入力システムを用いて患者情報・手術内容・合併症を1
	手術ごとにコンピューター上に入力し、匿名化加工をおこなったうえで日本産科婦人
	科内視鏡学会事務局に提出する。データは電子的に提出され、その過程の通信は
	暗号化され、その管理と解析は学会事務局で行う。学会への提出は、 当該年度1
	年分のデータをまとめて、翌年6月末日までに提出する。
	2. 実施期間
	登録期間は承認日以降から 2025 年 12 月 31 日まで症例を対象とする。登録は、1
	年分のデータをまとめて、翌年の6月末日までの登録を行うため、研究実施期間は
	承認日から 2026 年 12 月 31 日までとする。2026 年 1 月 1 日以降の症例について
	は、実施期間延長のための再申請を行う予定である。
① 試料・情報利用	①登録データの詳細 入力操作を円滑に行うため ID 、氏名、年齢、手術日を入力
目的および利	する。学会事務局に提出するデータには、これらのただちに個人を特定できる情報
用方法	は削除される。
	その他の情報も選択による入力でカテゴライズされる。学会事務局には個人を特定
	できない匿名加工情報が提出される 。
②利用し、又は提	② 診断名、施行手術術式、手術時間、合併症の有無、合併症の内容、合併症の
供する試料・情報の	程度、合併症の転帰、等
項目	
③試料・情報の取	③ 上記、"研究の方法"に記載。
得の方法	
④利用する者の範	④ 日本産科婦人科内視鏡学会 調査普及委員会
囲	研究責任者 原田 省

問合せ先

<当院>

地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属 産婦人科

研究責任者 邨田 裕子

住所:大阪府堺市西区家原寺町1丁番1号

TEL:072-272-1199(代表)

<研究代表者>

一般社団法人 日本産科婦人科内視鏡学会 普及調査委員会

普及調査委員会委員長 原田 省

住所:東京都千代田区三番町2 三番町KSビル(株)コンベンションリンケージ内

TEL:03-3263-8697